

製品安全データシート
[混合物用（塗料用）]

整理番号:00454002-02-0081

製造者情報 会社名:アトムサポート株式会社
住所:〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6
担当部門:商品部 担当者:渡辺 博志
電話番号:03-3969-3160 FAX番号:03-3969-3165
緊急連絡先:商品部 電話番号:03-3969-3160
作成者:須田 敏和 作成、改訂:2008.11.12.

製品の特記 製品名 アトムカラーニス マホガニー
製品説明 種類:天然油脂塗料（ニス）
主な用途:木部用

物質の特記 成分及び含有量（危険有害性物質を対象）

成分名	CAS No.	含有量%	備考
脂肪族系炭化水素	64742-48-9	60～70	—

危険有害性の分類 分類の名称 引火性液体・急性毒性物質

危険有害性コメント

- ☆燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
- ☆有機溶剤中毒をおこす恐れがある。
- ☆塗料が、スプレーダスト、清掃に使用した缶等は空気中で酸化し発熱、蓄熱すると自然発火の恐れがある。

応急措置

目に入った場合

- ☆直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ☆出来るだけ速く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ☆付着物を布にて素早く拭き取る。
- ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ☆蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。
- ☆粉塵、蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ☆誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ☆嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ☆医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

整理番号:00454002-02-006030

火災時の 措 置	使用可能消火剤 水 [×], 炭酸ガス [○], 泡 [○] 粉末 [○], 乾燥砂 [○], その他 []
消火方法	☆適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。 ☆可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。 ☆水を消火に用いてはならない。 ☆指定の消火器を使用すること。
漏出時の 措 置	☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 ☆乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 ☆河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 ☆作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 ☆漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
取扱い、保管 上の注意	取扱い上の注意 ☆換気の良い場所で取扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。 ☆工具は火花防止型のものを使用する。 ☆使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。 ☆作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。 ☆密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用する。 ☆取扱後は手・顔を良く洗い休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。 ☆スプレーダストや製品が付着した布、紙ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。 保管上の注意 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆通風の良いところに保管する。
暴露防止 措 置	設備対策 ☆取扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備すること。 ☆取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。 ☆タンク内部の密閉場所で作業をする場合には密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。

暴露防止 措 置	保護具 呼吸系の保護：☆有機ガス用防毒マスクを着用する。 ☆密閉された場所では送気マスクを着用する。 目の保護：☆保護メガネを着用する。 皮膚の保護：☆有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。 その他の保護：☆静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。
-------------	---

製品の物理 ／化学的	状態 液体[○]，気体[－] 固体:固形状[－]，粉末状[－]，ペースト状[－] 性質色：マホガニー 臭 気：油脂臭 沸 点： 73℃～202℃ 蒸気圧：267 Pa (20℃) 密度（比重）： 0.84 pH値：該当せず その他：☆特になし
---------------	--

危険性情報	製品特数 引火点：49℃ 発火点：200℃以上 爆発限界：（下限）0.6 %、（上限）6.2 % 反応性・安定性情報 接触により危険性のある物質：☆特になし 燃焼などによる有害ガス発生：☆CO、低分子モノマーなどの有毒性ガスが発生する。 その他の反応性情報：☆特になし その他の危険性情報：☆特になし
-------	---

有害性情報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物質名	管理濃度	ACGIH(ILV)	IARC	その他の有害性
	脂肪族系炭化水素	—	—	—	—
	※記載はないが、500ppm 以下が望ましい。				

組成物質に関するその他の有害性情報
☆特になし

製品に関する有害性情報
☆製品としての安全性試験は行っていない

環境影響
情報

- ☆漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意すること。
- ☆特に、製品や洗浄水が地面や川や排水溝に直接流れないように対処すること。

廃棄上の
注意

- ☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ☆容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ☆排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- ☆廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。

輸送上の
注意

- 共通：☆取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
☆容易に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 陸上輸送：☆消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送：☆船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送：☆航空法に定めるところに従う。
- 国連番号：1 2 6 3

主 な
適用法令

消防法：危険物 第4類第2石油類（非水溶性）
労働安全衛生法：危険物（引火性の物）
労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則（第3種有機溶剤等）
船舶安全法：高引火点引火性液体（23℃以上 61℃以下）
航空法
家庭用品品質表示法
建築基準法

その他

主な引用文献

「原材料物質データベース」日本塗料工業会
「溶剤ポケットブック」(株)オーム社
「危険防災救急便覧」
「国際化学物質安全カード（I C S C）」
「安全衛生対策－塗料製造業」日本塗料工業会
「製品安全データシート・ガイドブック」日本塗料工業会
「ザックス有害物質データブック」丸善(株)
「危険物ガイド」東京法令出版
「化学防災指針」日本化学会編1 丸善

[注意]

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。